

平成31年度
新潟市芸術創造村・国際青少年センター
指定管理者事業計画書・収支計画書

新潟市中央区東堀前通6番町1061番地
環境をサポートする株式会社きらめき
代表取締役社長 山田茂孝

【経営理念】

“自然” “創造” “共生” によるまちづくり
市民が活発にふれあう地域世代間交流拠点を目指します

【経営方針】

経営方針 1. 『水と土の芸術祭』の理念を継承した文化芸術活動支援事業

(ア) 統括ディレクターの常駐

- ① 「水と土の芸術祭 2015」総合ディレクターを平成 31 年度も統括ディレクターとして常駐させます。
- ② 平成 30 年度に開催された「水と土の芸術祭 2018」の成果とネットワークを活用します。

(イ) 「市民プロジェクト」との連携

統括ディレクターのネットワークを活用し、同芸術祭以降も「市民プロジェクト」各団体等と連携しその活動を応援します。また本施設を創造的な交流の場として活用していただきます。

経営方針 2. にいがたアドベンチャーを主軸とした多様な体験活動の提供

(ア) 青少年を対象とした豊かな体験活動プログラムの提供

団体向けには「人間関係づくり」を目的としたにいがたアドベンチャーを主軸に、多様な選択プログラムを提供します。個人向けには、平成 30 年度に実施し好評を得た宿泊事業やネイチャーゲーム、ピザ作り、飛び出すカード作り体験などをブラッシュアップさせ継続実施するほか、隣接する西海岸公園での木登り体験（ツリークライミングの手法）など新規プログラムも盛り込み、多様な体験活動プログラムを提供します。

(イ) 積極的な指導者育成

年 1 回、(株)プロジェクトアドベンチャージャパン（以下、「PAJ」という。）より講師を招聘し、にいがたアドベンチャーの新規指導者を養成します。また、平成 30 年度からの継続登録指導者および施設職員を対象とした養成講座も実施し、ファシリテーターのスキルアップを目指します。

経営方針 3. 地域の方々が3世代一緒に利用できる取組み

(ア) 親子で気軽に立ち寄れる施設

(イ) 子供たちが気軽に立ち寄れる居場所の提供

(ウ) シニアのふれあい事業の展開

(エ) 施設の平等利用の確保 ～ ユニバーサルサービスの実現 ～

【施設の休館日及び営業時間】

休館日	12月29日～翌年1月3日
開館時間	午前9時～午後9時30分

*休館日等スケジュール変更については本施設ホームページ、SNS、本施設内掲示にて周知します。

【文化芸術活動支援事業】

アーティスト・イン・レジデンス

- 新潟市ならではのアーティスト・イン・レジデンス（以下、「AIR」という。）事業の特色を国内外へ打ち出します。平成31年度は8組実施します。

(ア) 募集

募集については、2か国語以上のホームページ及びSNSを中心に行います。AIRの世界のネットワーク組織である「Res Artis」（レザルティス）に加盟し有効なポータルサイトを活用する他、国内外のAIR施設や各種アートプロジェクトとの連携を図ります。

(イ) 招聘プログラム等選定委員会の運営

招聘プログラム等の選定委員会を、平成31年度については年2回（4月・10月）開催します。

(ウ) 滞在制作芸術家等創作活動支援

芸術家等の滞在期間中は、地域の自然、歴史、文化の魅力を充分体感できるよう支援を行います。なお創作活動支援については「水と土の芸術祭市民サポーターズ」をはじめ、学生など、ボランティアスタッフとも協働しながら行います。

(エ) AIRによる市民交流事業

制作過程の公開、ワークショップ、レクチャーなどの交流事業を行います。企画に当たっては、芸術家等の特性が活かせる内容のものとし、多様な市民との接点を広げます。

地域の文化芸術関係団体等による市民交流

(ア) 西大畑旭町文化施設協議会「異人池の会」や各種団体等と連携し、地域のにぎわい空間を創出します。

(イ) 地域や市民との有機的な絆を育むことで、「水と土の芸術祭」における「市民プロジェクト」のような、継続性のある関係及び創造的な事業を実施します

水と土の文化ギャラリーの企画展示・運営

(ア) 企画展の開催

「水と土の芸術祭」の実績をもとに、本市が水と土によって育まれた文化創造交流都市であることを内外へ発信する企画展を開催します。

(イ) 全国の芸術祭開催資料や美術・芸術関連書籍等の設置及び管理運営

「水と土の芸術祭」をはじめ全国の芸術祭開催資料や美術・芸術関連書籍等を設置します。またアーツカウンシル新潟と連携することで生きた文化情報の双方向的な受発信を図ります。

平成31年度 文化芸術活動支援事業 年間計画

種別	事業名	内容	開催時期
AIR	招聘プログラム〈春〉	2組、滞在制作 90 日以内	4月～6月
AIR	自主活動プログラム〈夏〉	2組、滞在制作 30 日以内、公募・選考 H31 年4月	7月～8月
AIR	招聘プログラム〈秋〉	2組、滞在制作 90 日以内、公募・選考 H31 年4月	9月～11月
AIR	自主活動プログラム〈冬〉	2組、滞在制作 30 日以内、公募・選考 H31 年10月	1月～2月
AIR 市民交流	招聘プログラムアーティスト 〈春〉	2組、内容はアーティストの特性による。1組につき1回以上実施。	4月～6月
AIR 市民交流	自主活動プログラムアーティスト 〈夏〉	2組、内容はアーティストの特性による。1組につき1回以上実施。	7月～8月
AIR 市民交流	招聘プログラムアーティスト 〈秋〉	2組、内容はアーティストの特性による。1組につき1回以上実施。	9月～11月
AIR 市民交流	自主活動プログラムアーティスト 〈冬〉	2組、内容はアーティストの特性による。1組につき1回以上実施。	1月～2月
地域団体 市民交流	宇宙と星とその果てに	クリエイティブ集団、手部と連携し制作したアート空間でイベントなどを行う。	4月～5月
地域団体 市民交流	にいがた花絵プロジェクト in ゆいぼーと	にいがた花絵プロジェクト実行委員会と連携し、独自の花絵を制作する。地域住民や青少年等と協働する。	4月～5月
地域団体 市民交流	新潟竹あかり花あかり 〈関連企画〉	異人池の会と連携し、テーマに因んだ独自企画を実施。	10月
地域団体 市民交流	ゆいぼーと水と土の映像フェスティバル	水と土の芸術祭に関連して制作された自主映画などの映像作品を集めリバイバル上映を行う。関係者によるトークや関連資料も併せて展示。	12月
地域団体 市民交流	ゆいぼーと新潟ブックフェア	新潟市内で発行されているミニコミやフリーペーパー、ZINE などを集めて展示。出版関係者によるトークの他、併催イベントとして「第2回ビブリオバトル in ゆいぼーと」を開催。	3月
地域団体 市民交流	常設展	「新潟市環境資源目録」と「はがしたての地球～土壌モノリス」の展示。	4月～5月 他
地域団体 市民交流	新潟発古町鯛車ものがたり(仮)	柳都わいやらの会と連携し、住吉祭ゆかりの鯛車を展示。新潟独自に展開する鯛車の魅力にせまる。	6月～7月
地域団体 市民交流	ゆいぼーと学校で怪談/水と土の妖怪スペシャル(仮)	新潟妖怪研究所と連携し、新潟の伝承等に基づく妖怪について多面的かつ文化的に探究する。高橋郁丸氏の妖怪イラスト等の展示やトークの他、創作替女唄を金子まゆ氏の演奏と唄で聞く。	8月～9月

【青少年体験活動推進事業】

職員全員が自然体験活動における安全管理の在り方を理解することで、利用者や参加者に信頼され、安心・安全な体験活動プログラムを提供します。

体験活動プログラム（小中高等学校、施設利用青少年団体向け）

（ア）「にいがたアドベンチャー」（以下、「NA」という。）の継続

- ① 人間関係づくりプログラムについて、平成30年度以上に提供プログラムを充実させ、内容を施設利用団体に積極的にPRし、NAの理念や取組みについての啓発を行います。夏までに新規エレメント「ウォール」を追加設置し、グループの信頼関係やコミュニケーションがさらに図れるアクティビティとして活用します。
- ② プログラム指導者は施設職員（PAJ主催コース受講者）のほか、指導経験のある者を外部スタッフとして手配し、指導に入ります。
- ③ 年に1回新規向けに実施する「にいがたアドベンチャー指導者養成講座」受講者にはできるだけ指導者として登録をお願いし、サポートスタッフとして指導に関わっていただきます。
- ④ 限られた体験活動の時間の中で最大限の効果を引き出せるファシリテーション力を身につけられるよう、指導者登録者を対象に「ファシリテーション講座」を開催します。
- ⑤ 「妙高アドベンチャー」との情報交換
同種事業を展開している国立妙高青少年自然の家「妙高アドベンチャー」とは定期的に情報交換を行い、情報共有と事例の水平展開を図ります。

（イ）松林や砂浜を利用した自然体験活動

野外炊事や原始的な火おこしのほか、近隣の松林で活動するネイチャーゲームやフォトオリエンテーリングなどのプログラムを整備し、利用団体のニーズに合わせて選択していただけるようにします。

青少年健全育成事業（青少年個人向け）

（ア）「体験の風をおこそう」運動事業の推進

国立青少年教育振興機構と関係団体とが連携して推進している体験の風をおこそう運動事業に賛同し、積極的に事業に取り入れます。

（イ） 宿泊事業（年4回実施）

- ① ゆいぽーとアドベンチャーキャンプ（館内研修室泊。年2回実施。）
にいがたアドベンチャー、野外炊事、ナイトウォーク、フォトオリエンテーリングなど、アドベンチャー要素の高いプログラムを体験していただきます。
- ② ゆいぽーとワクワク体験キャンプ（館内研修室泊。年2回実施。）
異学年や異世代の交流を目的に、にいがたアドベンチャー、野外炊事、ネイチャーゲーム、造形積み木などの各種プログラムを体験していただきます。

(ウ) 日帰り事業（年 20 回実施）

- ・にいがたアドベンチャー・ツリークライミング・原始的な火おこし・ネイチャーゲーム・ピザ作り・たき火・ウッドバーニング・マンカラ・お菓子作り など

市民交流事業

- (ア) 「児童館科学館美術館対抗 第 6 回全国 KAPLA®大会」の参加施設として登録し、6 月～8 月の期間来館者が自由に作品づくりをできる日を設定します。事前に近隣地域にも広報し、地域の子どもと大人が交流しながら KAPLA®の作品づくりを楽しんでいただきます。
- (イ) 近隣地域の方の協力も得ながら「防災デイキャンプ」を実施します。非常食の調理体験や災害時に役立つスキルを学べる講座など、子どもたちが防災に興味を持ち、また地域の方と交流できるような内容で実施します。

青少年の自由な遊び場、居場所の提供事業

- (ア) 体育館や多目的スペースが空いている日を青少年が運動や遊び、創作活動ができるよう無料開放します。
- (イ) ボールやラケットなどの道具のほか、けん玉、マンカラ、KAPLA®, オセロ等も用意することで、様々な運動や遊びができる場所を提供します。また、けん玉については定期的に「けん玉検定」が受けられる日を設定します。
- (ウ) 小中学生は原則午後 5 時半まで、それ以降は高校生や大学生が使用できるようにするなど、安全に利用できるよう時間や場所等を決めて運営します。

指導者育成講座

- (ア) 「ゆいぽーと体験活動指導者養成講座」
- ① 新規指導者向け…日帰り 6 時間の養成講座を実施（年 1 回実施）
 - ② 継続登録指導者向け…日帰り 3 時間の養成講座を実施（年 1 回実施）
- (イ) 「にいがたアドベンチャー指導者養成講座」
- ① 新規指導者向け…21 時間の養成講座を実施（年 1 回実施。PAJ より講師を招聘する）
 - ② 継続登録指導者向け…日帰り 6 時間の養成講座を実施（年 1 回実施）
 - ③ ファシリテーション講座…登録指導者を対象に、ファシリテーション力を向上させるための講座を実施（年 1 回実施）

平成31年度 青少年体験活動推進事業 年間計画

種別	事業名	内容	開催時期
青少年 宿泊	ゆいぽーとアドベンチャーキャンプ(1泊2日)	館内泊で、にいがたアドベンチャー、野外炊事、フォトオリエンテーリングなどアドベンチャー要素の高い活動を体験	9月、2月
青少年 宿泊	ゆいぽーとワクワク体験キャンプ(1泊2日)	館内泊で、にいがたアドベンチャー、野外炊事、ネイチャーゲーム、KAPLA®などを通して、異学年・異世代と交流	6月、11月
青少年	野外アドベンチャーゲームに挑戦	木製エレメントを使ったアクティビティを通して、日頃体験することのできない身体と頭を使った挑戦ゲームを体験する	5月、10月
青少年	ドン山で木登り体験	ドン山隣の松林でツリークライミングを体験	5月、10月
青少年	ゲームで水について楽しく学ぼう	水をテーマにしたアクティビティ	2月
青少年	火おこし道場	マッチを使った火おこしと、舞hiri式火おこしの体験	8月
青少年	天体望遠鏡で星空を観察しよう	天体望遠鏡を使った星空観察会	8月
青少年	公園で自然を使ったゲームを楽しもう	近隣の松林や西大畑公園で、様々な感覚で自然とふれあう	6月、10月
青少年	ピザ手作り体験	調理室で手作りピザに挑戦し、野外で簡易ピザオープンでピザを焼く体験	9月
青少年	たき火でやきいもを焼こう	たき火をおこして、やきいもやマッシュマロ焼きを体験	11月
青少年	魚釣り体験	海での魚釣り体験	6月
青少年	お菓子作り体験	調理室でのお菓子作り体験	10月、2月
青少年	ブラックライトで光る絵を描こう	蛍光絵の具などを使用して、ブラックライトに浮かび上がる絵を描く体験	1月
青少年	飛び出すクリスマスカード作り体験	クリスマスや干支にちなんだグリーティングカード作り	12月
青少年	ウッドバーニング体験 ～木をこがして絵を描いてみよう～	木をこがしながら絵を描く体験	9月
青少年	国際交流員とゲームで交流しよう	国際交流員と一緒にゲームを楽しみながら交流を深める	3月
青少年	マンカラ大会	考える力がつくボードゲーム「マンカラ」の大会、世代間交流も目的	4月、1月
市民交流	第6回 全国KAPLA®大会	KAPLA®で作った作品を応募できる大会の実施設として参加	6月～8月
市民交流	防災デイキャンプ	非常食体験や防災スキルを学ぶ講座	10月
遊び場 居場所	キッズスペース、体育館開放	体育館や多目的スペースが空いている日を開放(運動、創作活動)	通年
指導者 育成	ゆいぽーと体験活動指導者養成講座 (A業務)	新規指導者向け、日帰り6時間	6月
指導者 育成	ゆいぽーと体験活動指導者養成講座 (A業務)	継続登録指導者向け、日帰り3時間	3月
指導者 育成	にいがたアドベンチャー指導者養成講座 (B業務)	新規指導者向け、21時間(日帰り3日間)。株式会社プロジェクトアドベンチャージャパンより講師を招聘	9月
指導者 育成	にいがたアドベンチャー指導者養成講座 (B業務)	継続登録指導者向け、日帰り6時間	6月

【複合施設の特性を活かした事業】

○ 近隣自然環境を活かした事業

(ア) 地域行事との連携

毎年、自治会や地域コミュニティ協議会等で行っている子供たちの行事を全面的にバックアップします。要望に合わせ、文化芸術活動や青少年体験活動と組み合わせた形で、体験プログラムを提供します。

(イ) 学校で利用する体験活動プログラムのコンテンツ拡大

体験活動プログラムを充実し、学校の規模や希望に応じて柔軟に対応します。

(ウ) 「ふたば感謝祭」の開催

来場者が減少する時期、冬場への対策も含めて「ふたば感謝祭」を開催します。複合施設の特性の進化、文化芸術と青少年育成のコラボをコンセプトとし、地域の方々への感謝の意味も含め、全館を使用したイベントを開催します。

【地域世代間交流事業】

(ア) キッズスペースの運営

おもちゃで遊んだり、絵本を読んだり、お散歩の合間に休憩したり、親子でゆっくりお過ごし頂ける無料休憩スペースを運営します。

(イ) 敷地内での植物の栽培

敷地内の一部にて植物の育成や、食物の栽培を地域の方々と一緒にいき、コミュニティ活動に貢献します。

(ウ) コミュニティ花壇を運営

「花いっぱい運動」として地元の方々より協力、整備頂いた花壇に近隣の青少年を中心に花を植えたり、種まきをしていただく「コミュニティ花壇」を継続して運営します。

(エ) ふたば感謝祭の開催（再掲）

ふたば感謝祭を開催し、地域世代間の交流を促進させます。

【自主事業】

○ 利用者の利便性の向上を目的とした有料自主事業を実施し、それらによって得られた利益については全て施設の維持管理費に充当します。

(ア) ケータリング、お弁当サービス

利用者からの希望があればケータリング、お弁当等のサービスを提供します。

(イ) 自動販売機収入による無料 Wi-Fi 継続設置

自動販売機の手数料収入を財源として、1～2 階に無料 Wi-Fi を設置します。

(ウ) 二葉アーツスクール「めだかの学校」シーズン2の開講

新潟に根差したテーマによる連続市民講座を実施します。

知的感性を高めるとともに、創造的な出会いを育みます。（年4回開催予定）

(エ) 「メセナ活動」の推進

芸術家等の AIR 活動を支援すべく、自主事業として会員制のメセナ活動を推進し、参加企業を募ります。またそれ以外にも個人スポンサーを募ります。なお、調達資金については、それぞれ指定管理料及び(ア)～(エ)の自主事業とは別口座にて管理します。

(オ) その他サービス

その他サービスとして下記の実施します。

- ・コピー ・コインランドリー (3、4 階) ・身の回り品販売 ・CD プレイヤーレンタル
- ・fax サービス ・インターネットサービス (Niigata City Wi-Fi) 他

(千円)

項目	売上	経費	自主事業からの補填額	備考
二葉アーツスクール参加費	65	50	15	
コピー・fax・ネットサービス・CDプレイヤーレンタル等	14	0	14	モノクロ1枚10円、カラー1枚50円
コインランドリー手数料	6	0	6	
身の回り品販売等	6	4	2	カップラーメン、歯ブラシ、タオル等
薪、野外自炊材料販売手数料	100	40	60	
芸術系商品販売	9	0	9	
ケータリングサービス・お弁当	1,800	1,000	800	
合計	2,000	1,094	906	

【目標人数】

(ア) 合計

事業区分	目標人数 (人)	備考
文化芸術活動支援事業	3,970	
青少年体験活動推進事業	52,930	
地域世代間交流事業	1,500	
貸館利用	3,500	
個人利用 (一般)	3,960	
合計	65,860	

(イ) 文化芸術活動支援事業内訳

事業カテゴリー	目標人数 (人)	備考
AIR 制作見学・展示会	1,150	作家 8 組×平均来館者・参加者数 100 人
AIR 市民交流事業	350	
地域団体市民交流事業	550	
企画展示 (水と土の文化ギャラリー)	1,750	
ボランティアの活用	50	AIR の手伝い等
自主事業二葉アーツスクール	120	4 講座×平均来館者数 30 人
合計	3,970	

(ウ) 青少年体験活動推進事業内訳

事業カテゴリー	目標人数(人)	備考
青少年体験活動 (学校関係、青少年団体向け)	31,800	〈学校関係〉50回×平均人数300人 〈その他青少年団体〉300回×平均人数57人
青少年健全育成事業 (青少年個人向け)	1,000	〈宿泊を伴う事業〉4回×平均参加人数80人 〈日帰り事業〉20回×平均参加人数34人
市民交流事業	2,000	〈防災に関する事業〉1回×参加人数100人 〈全国KAPLA®大会 延べ参加人数1,900人
青少年の自由な遊び場、居場所の提供事業	17,880	12か月×平均人数1,490人
指導者育成事業	130	〈新規受講者対象〉2回×平均参加人数50人 〈継続受講者対象〉2回×平均参加人数15人
ボランティアの活用	120	
合計	52,930	

(エ) 地域世代間交流事業

事業カテゴリー	目標人数(人)	備考
地域世代間交流事業	1,500	ふたば感謝祭
合計	1,500	

(オ) 貸館利用(青少年を除く)

事業カテゴリー	目標人数(人)	備考
貸館(青少年を除く)	3,500	140回×平均人数25人
合計	3,500	

(カ) 個人利用(青少年を除く)

事業カテゴリー	目標人数(人)	備考
個人利用(青少年を除く)	3,960	1か月×平均人数333人
合計	3,960	

【研修計画】

- 利用者ニーズに対応出来る優れた人材を育てため、適切な研修を実施することにより施設の安全・安心・快適性の向上を図ります。

(ア) 施設管理・運営業務一般研修

研修名	実施月		実施者
【施設受付・貸出業務】			
接客・接客研修	4月	9月	きらめき本社 研修課
個人情報取扱研修	4月		きらめき本社 研修課
コンプライアンス研修	2月		きらめき本社 取締役
【安全管理】			
避難訓練	5月	11月	防火管理者
AED研修	5月	11月	AEDプロパイダー
【にいがたアドベンチャー・その他プログラム】			
スキルアップ研修	7月・8月を除く毎月		ゆいぽーと職員

【安全確保、災害発生時の対応、事故防止や発生時などの緊急対応】

- 利用者の安全を第一に考え各種マニュアルを基に研修・指導・訓練を行うとともに気配り・目配りにより事前の危険要素発見に努め、事故等を未然に防ぎます。
- 本社内にて24時間体制の管制センターを有しており緊急時には迅速に対応します。

安全対策への取組み

(ア) 巡視による早期発見、早期対応

定例巡視 9:00、15:00、閉館時

宿泊利用時 19:00、21:00、翌朝5:00（上記に追加）

混雑時（15:00～17:00） 1時間毎

(イ) マニュアルの整備

下記のマニュアルを整備し、現場に設置します。また必要に応じて改定を行います。

- ・「危機管理マニュアル」
- ・「防火ポケットマニュアル」
- ・「心肺蘇生・応急処置マニュアル」
- ・「感染症対応マニュアル」

緊急連絡体制

